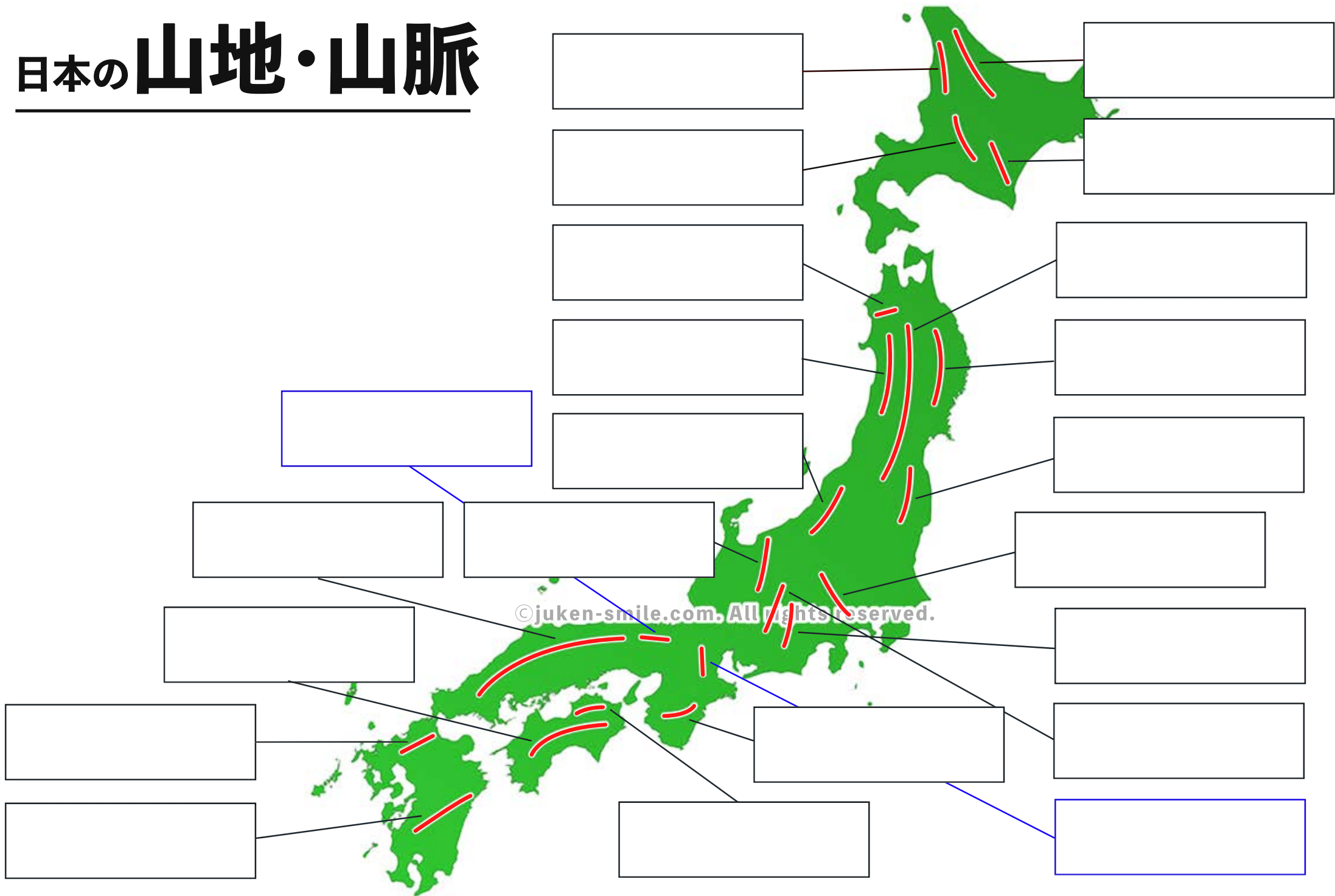
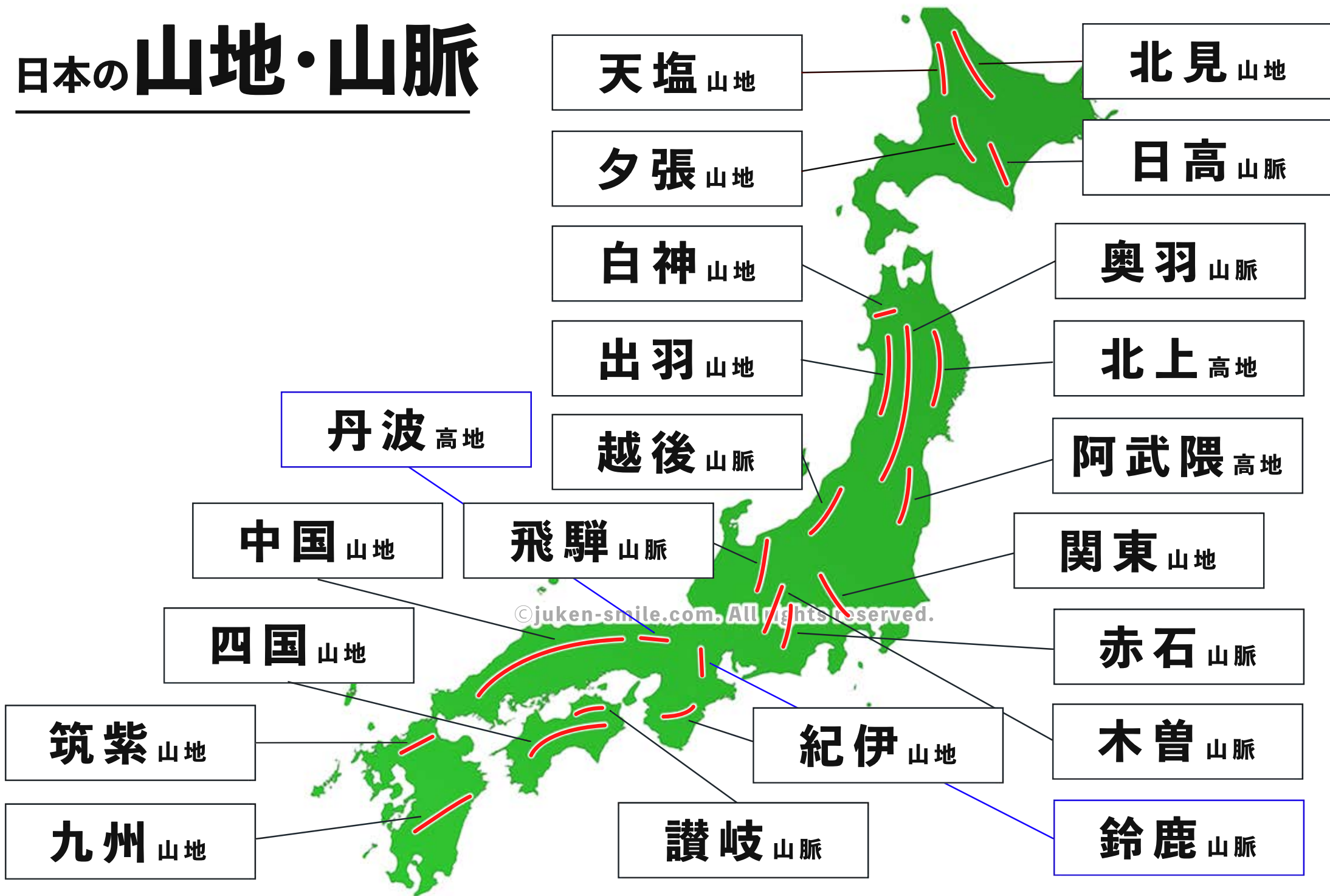


# 日本の山地・山脈



# 日本の山地・山脈



# 日本の山地・山脈のポイントまとめ

日本の山地・山脈は、山がもたらす気候の影響を理解しておくことが重要です。

---

## 1. 日本の主要な山脈と気候の関係

日本には、「日本アルプス」（飛騨山脈・木曽山脈・赤石山脈）などの高い山脈があり、これらが気候の境界になっています。

- 日本海側（西側） → 山脈が冬の季節風を受け止め、雪が多い（例：北陸地方、東北地方）
- 太平洋側（東側） → 乾燥した風が吹き、冬は晴れが多い（例：関東地方、東海地方）

特に飛騨山脈（北アルプス）は、日本海側の湿った空気を遮るため、長野県の松本市や諏訪市などは比較的降水量が少ないのが特徴です。

---

## 2. 山脈と川・農業の関係

山があることで、日本には多くの川が流れています。山脈を水源とする川は、農業や発電に利用されています。

- 信濃川（新潟） → 日本最長の川。越後平野では稲作が盛ん。
- 富士川（静岡・山梨） → 日本三大急流の一つで、水力発電に利用。
- 木曽川（愛知・岐阜） → 名古屋周辺の都市の水資源を支える。

山地があることで川が生まれ、平野ができ、農業や都市の発展に影響を与えているのです。

---

### 3. 山脈と特産品

山地は気温が低く、昼夜の寒暖差が大きいため、**特産品の栽培** に適しています。

- りんご（長野・青森） → 冷涼な気候が甘みを引き出す
- そば（信州そば・出雲そば） → 痩せた土地でも育つため、山間部で栽培
- お茶（静岡・宇治・八女） → 霧が多い山間地が茶葉の育成に適している

山脈の影響でできた気候や地形が、日本の食文化にも大きく関わっていることを押さえておきましょう！

---

#### まとめ

- ✦ 日本の山脈は、気候の境界となり、日本海側と太平洋側で天気が異なる！
- ✦ 山地から流れる川が農業・都市発展・水力発電に大きな役割を果たす！
- ✦ 山の気候を活かした特産品（りんご・そば・お茶）が多くある！

山脈の影響を一つずつつなげて考えると、地理の理解が深まり、試験でも応用できるようになります！